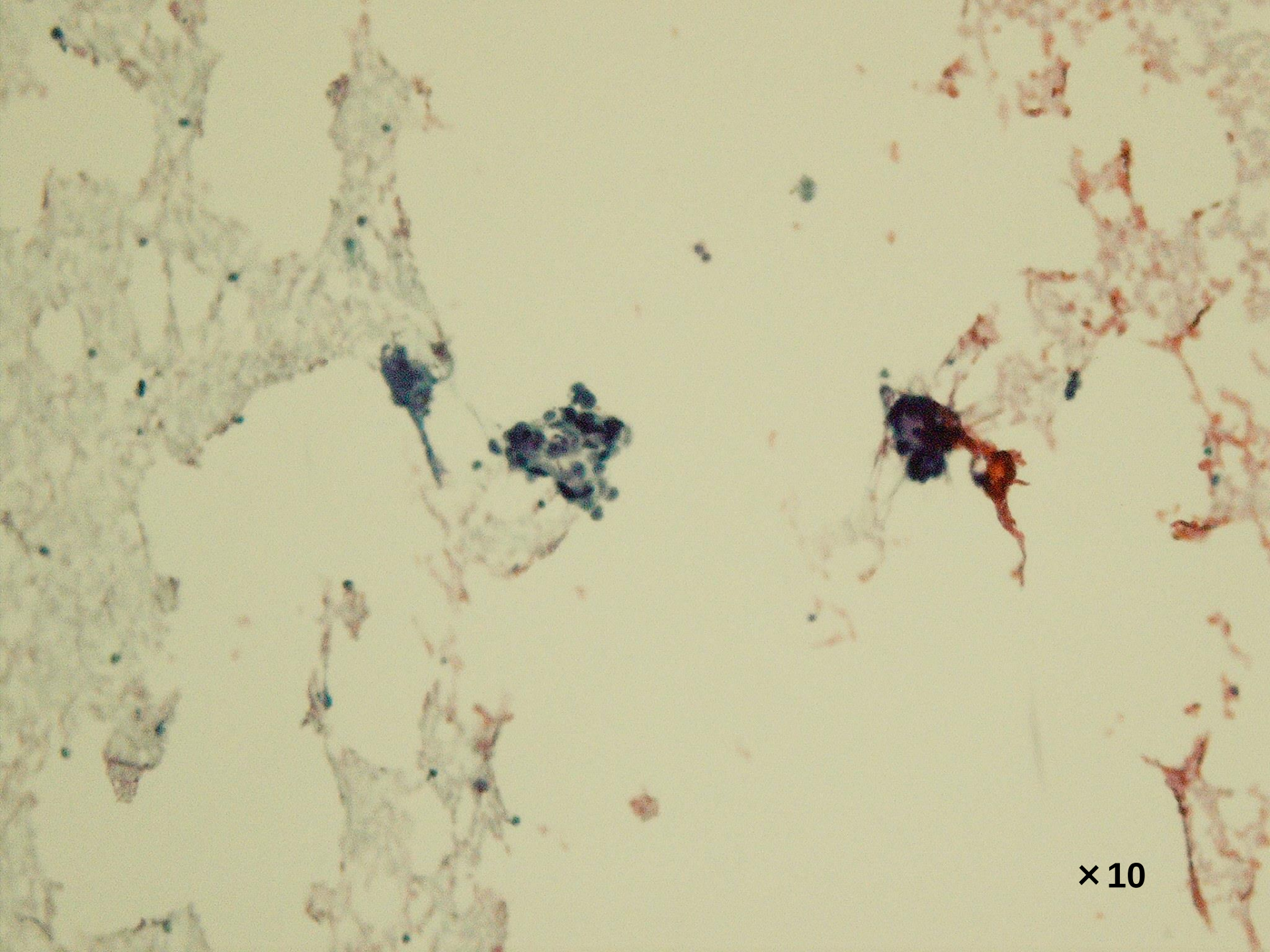


解答

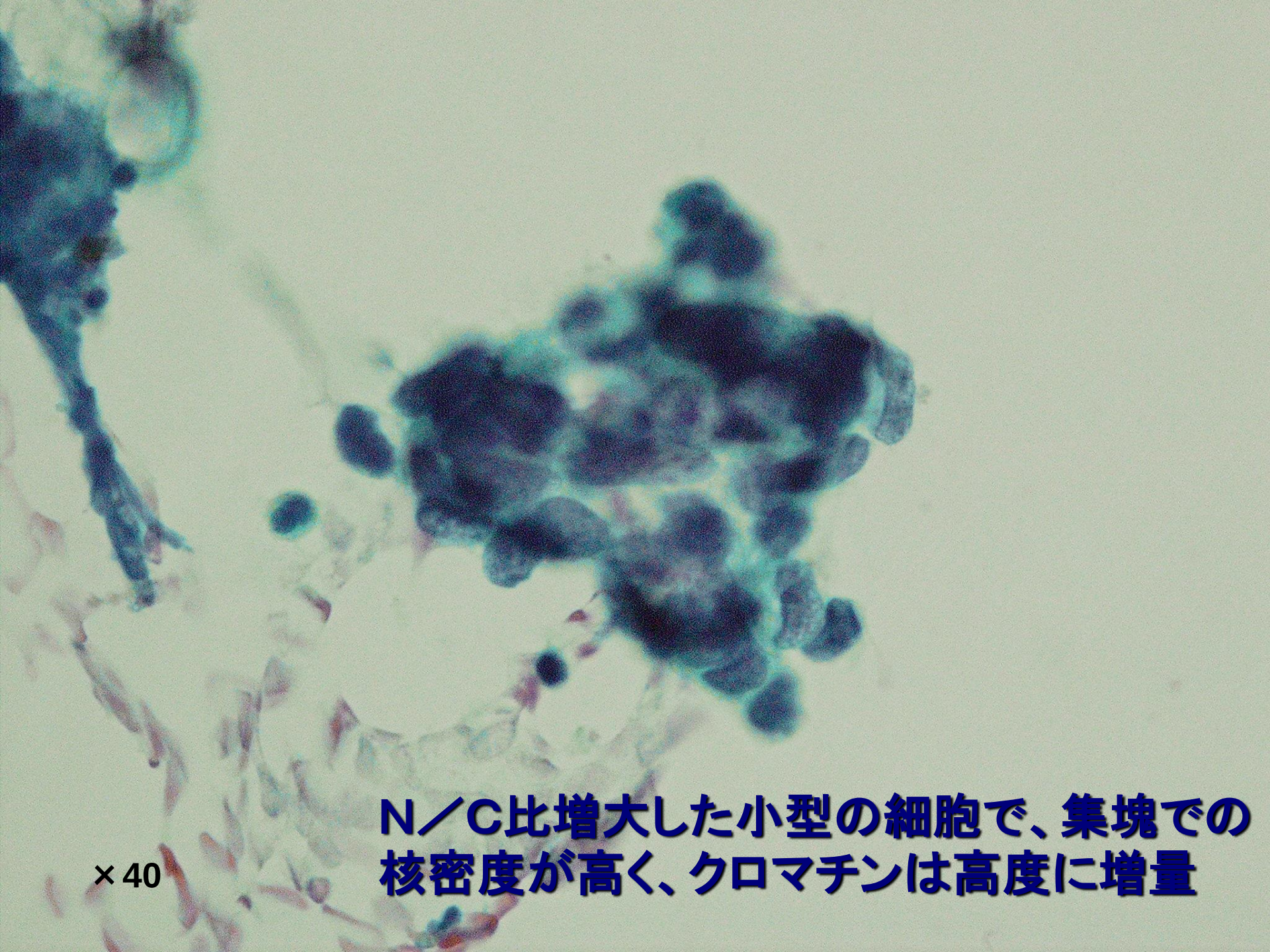
非角化型扁平上皮癌

- 症例: 48才 女性
- 子宮頸部
- 直接塗抹 綿棒
- 月経中に採取
- 主訴: 不正性器出血

細胞学的所見

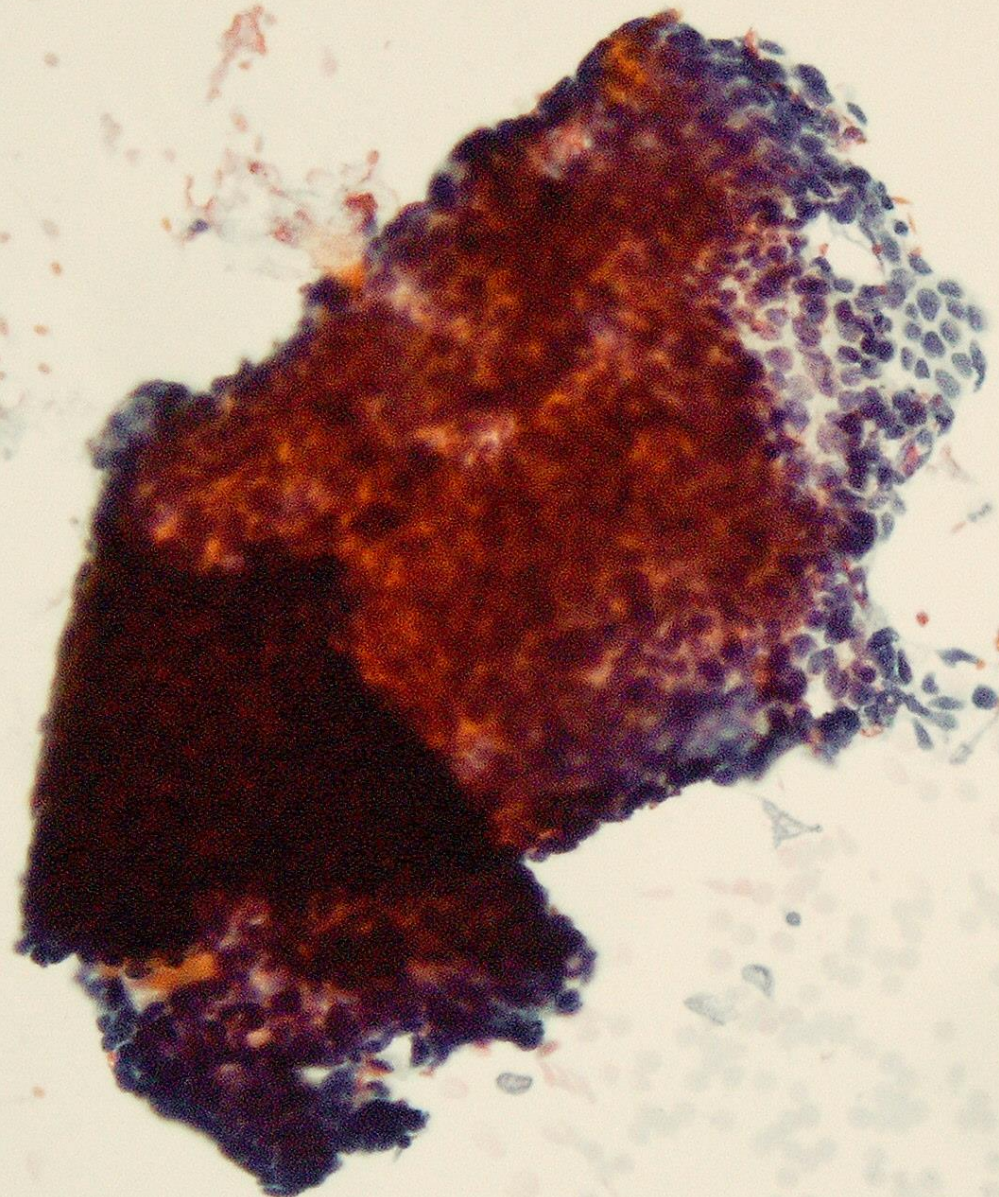


× 10

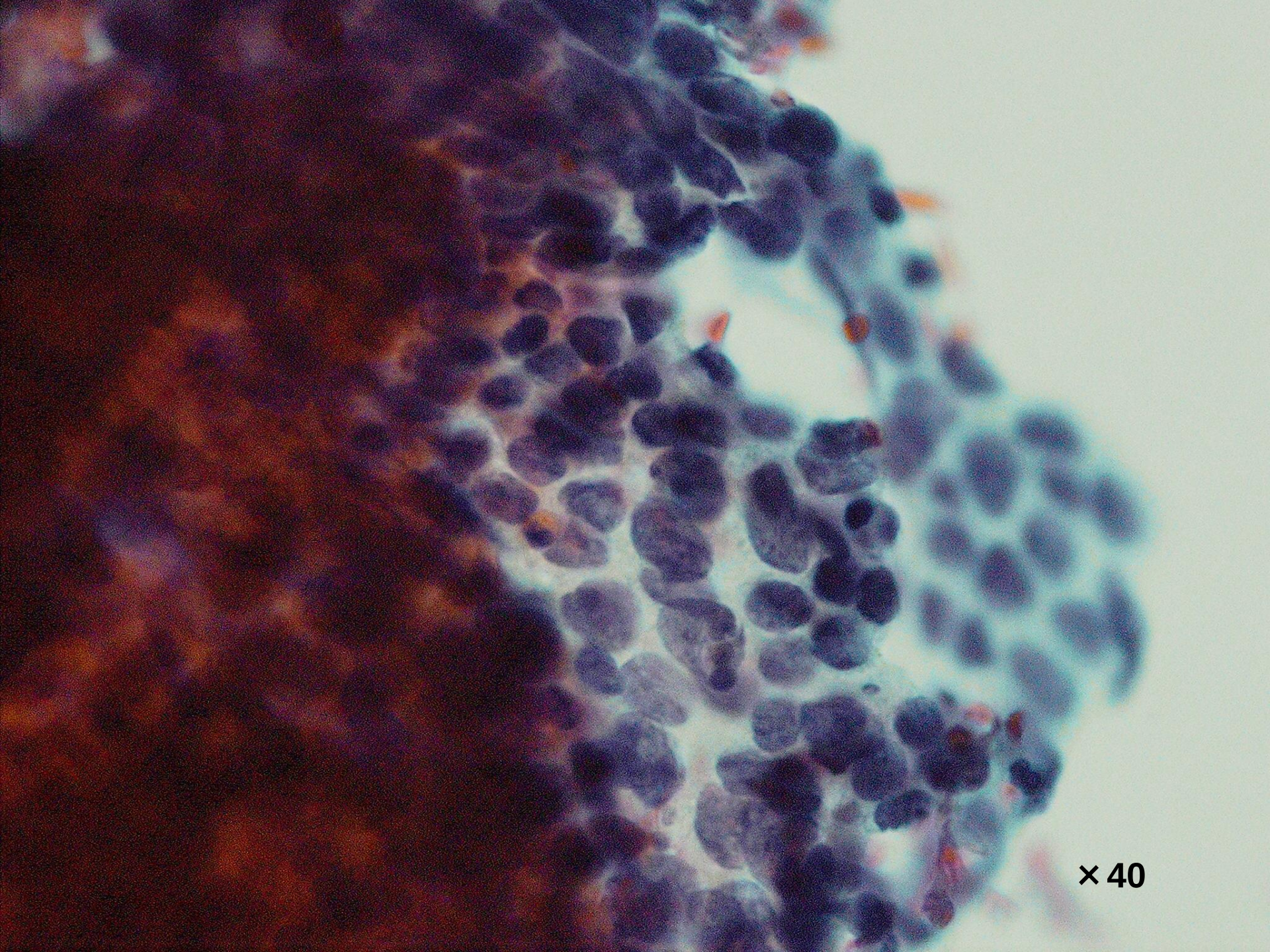


N/C比増大した小型の細胞で、集塊での核密度が高く、クロマチンは高度に増量

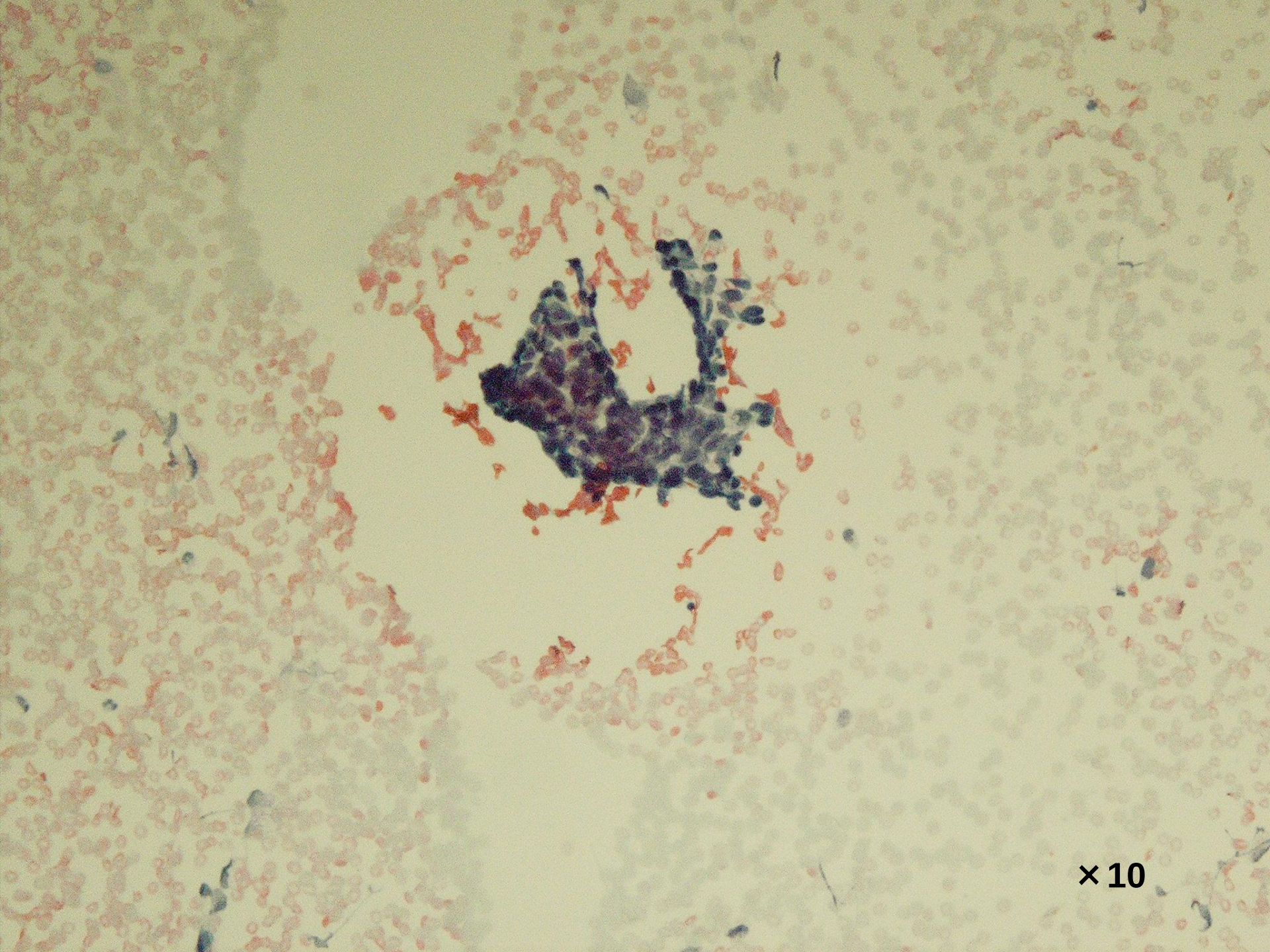
× 40



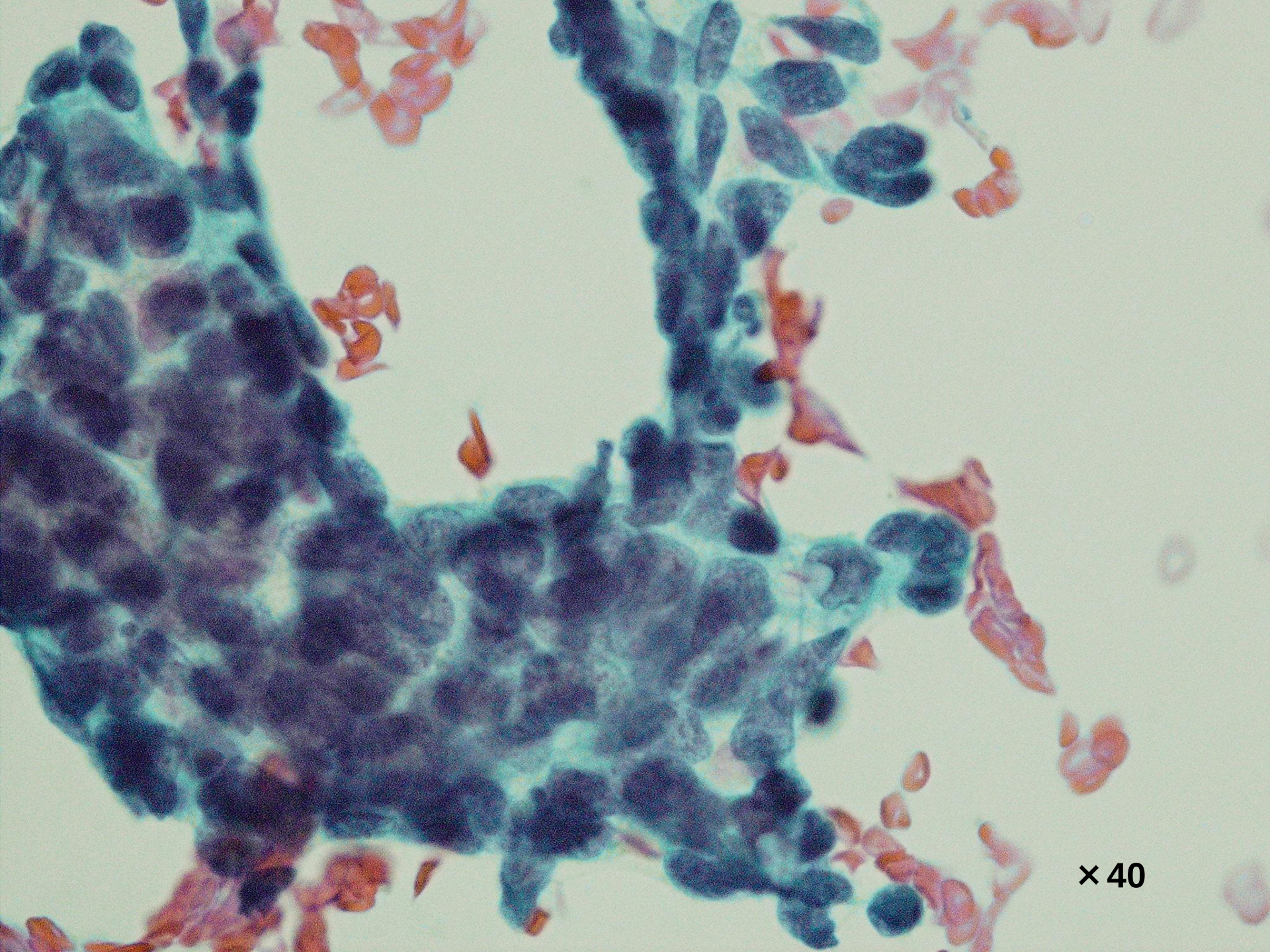
× 10



× 40



× 10



× 40

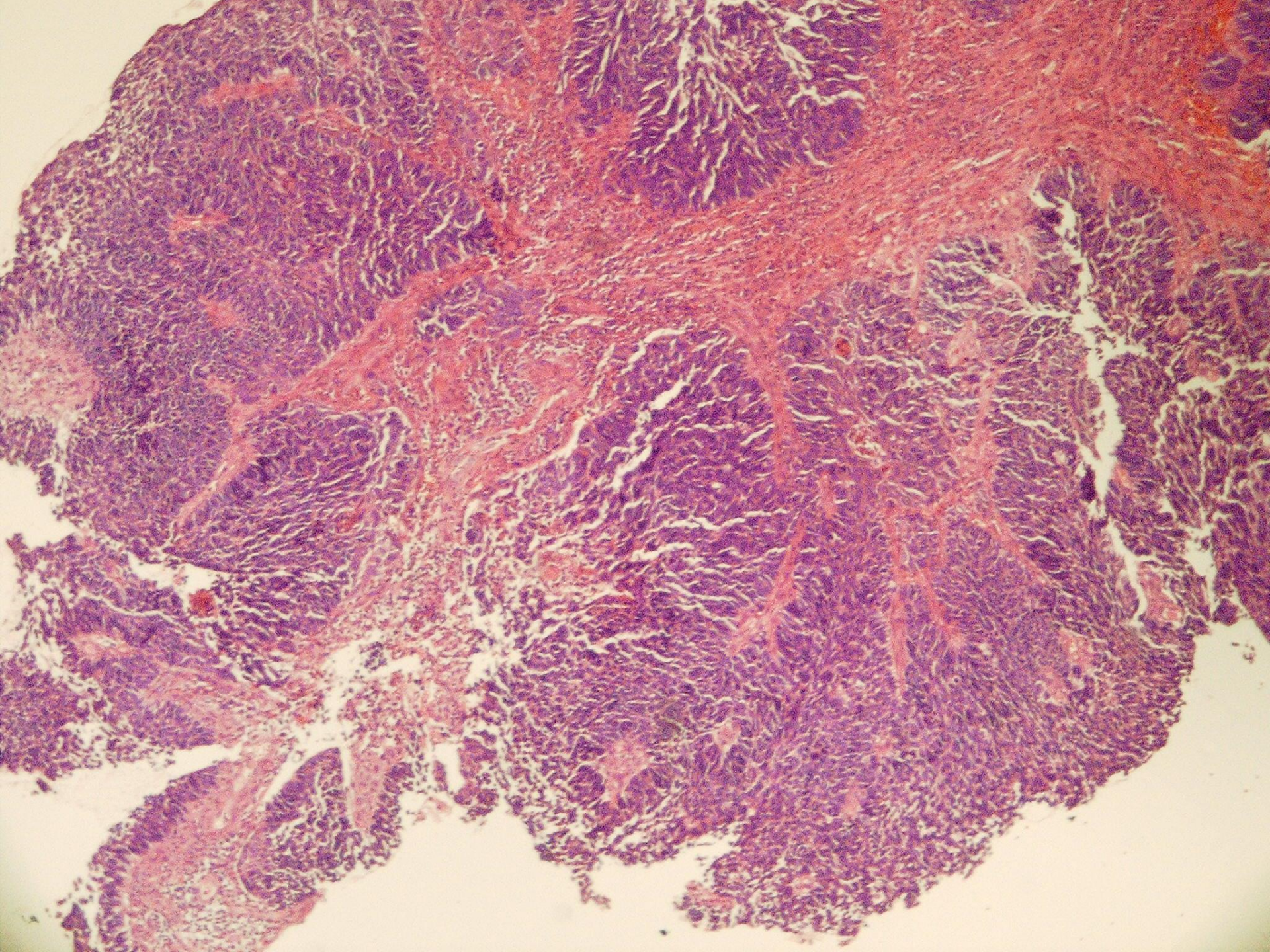
細胞学的診断

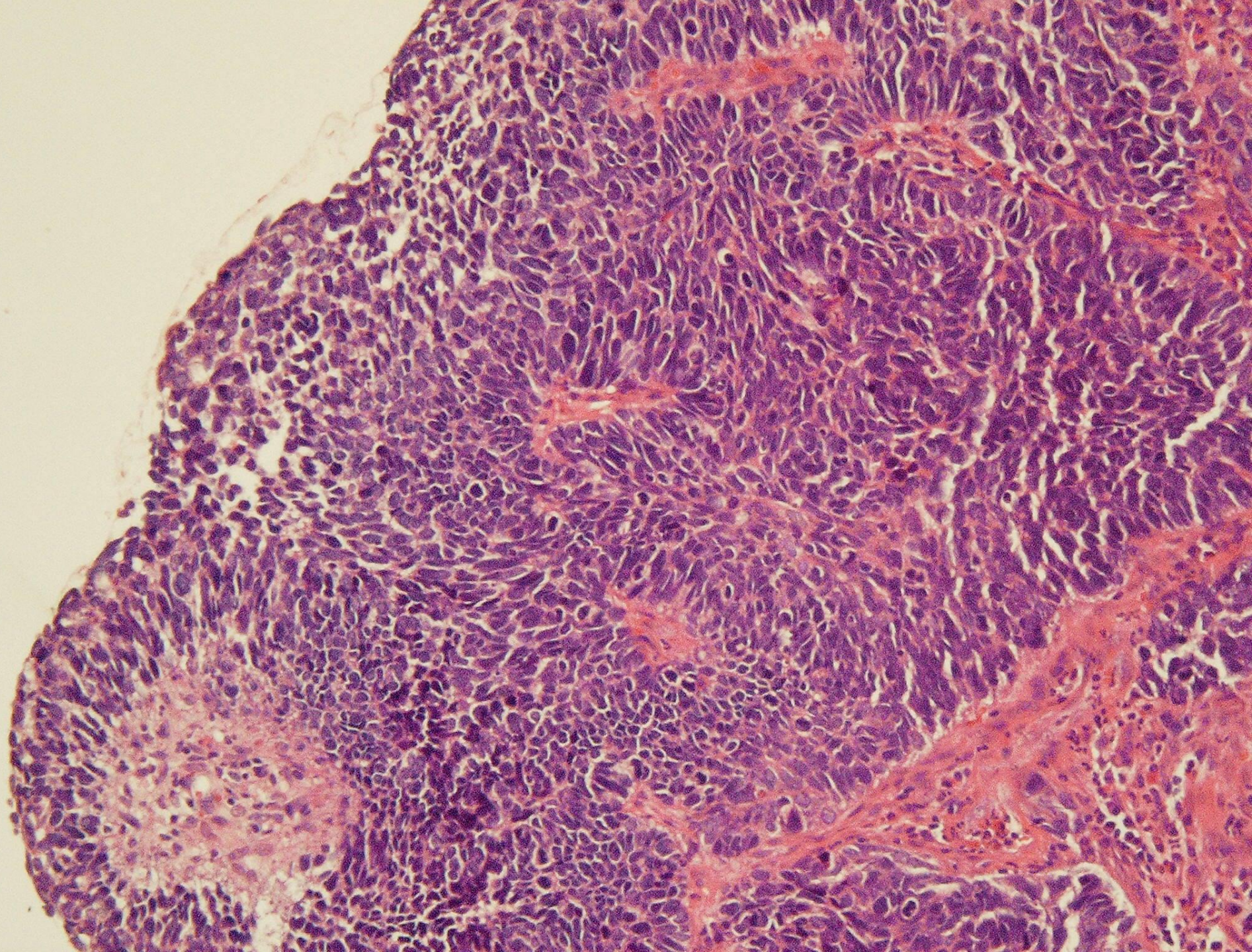
非角化型扁平上皮癌

細胞所見

- 背景は腫瘍性，出血が多い。
- 散在性，シート状の集塊を形成する。
- 腫瘍細胞には角化はみられないか，みられても数は少ない。角化型扁平上皮癌にみられるようなオレンジ好性の輝度の高い細胞は無い。
- 比較的豊富な細胞質をもつ多稜形の癌細胞。
- 小型でN/C比の高い腫瘍細胞で占められる腫瘍もある。
- N/C比の高い紡錘形細胞からなる腫瘍もある。
- 核クロマチンは粗顆粒状でときに明瞭な核小体。

組織学的所見



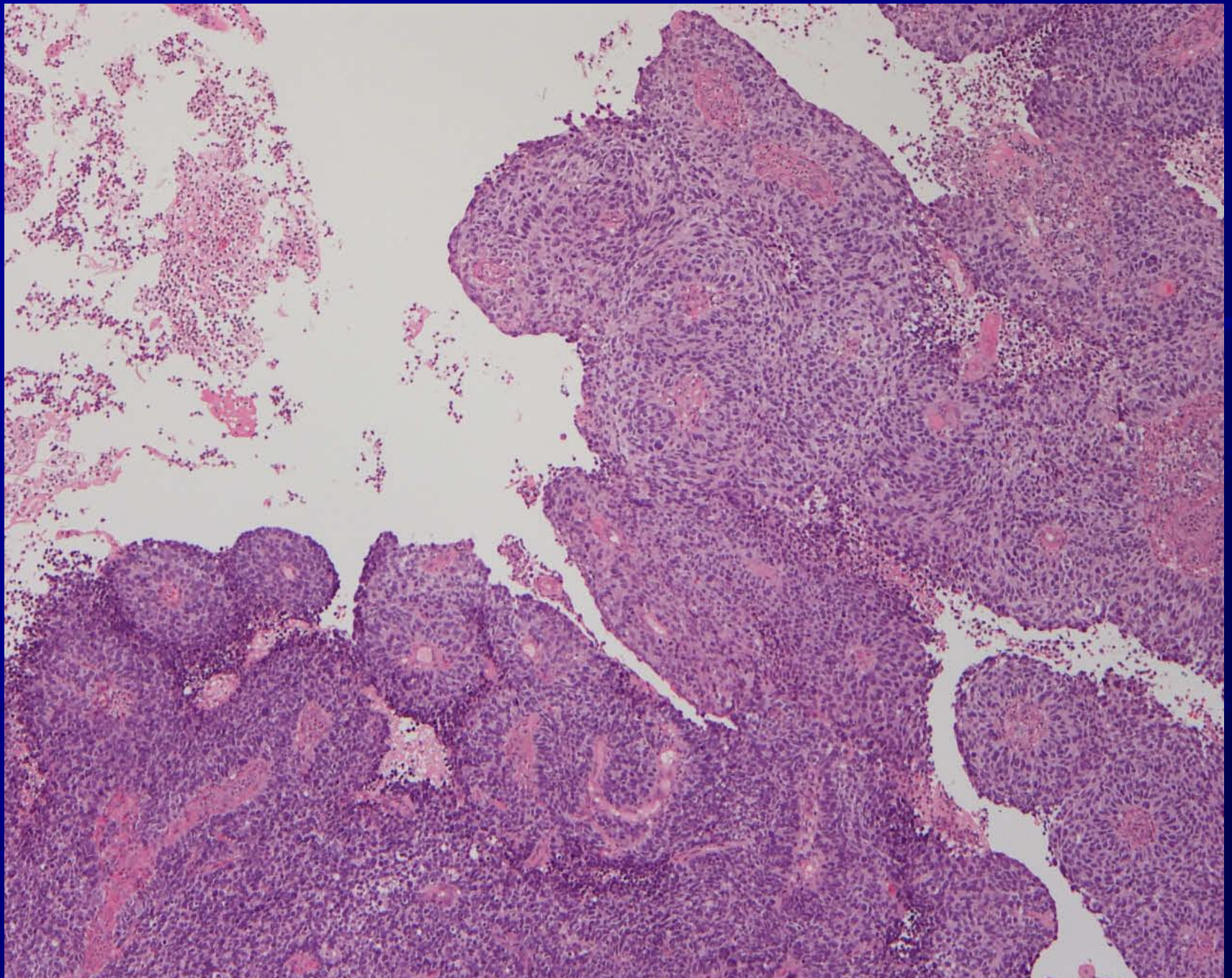


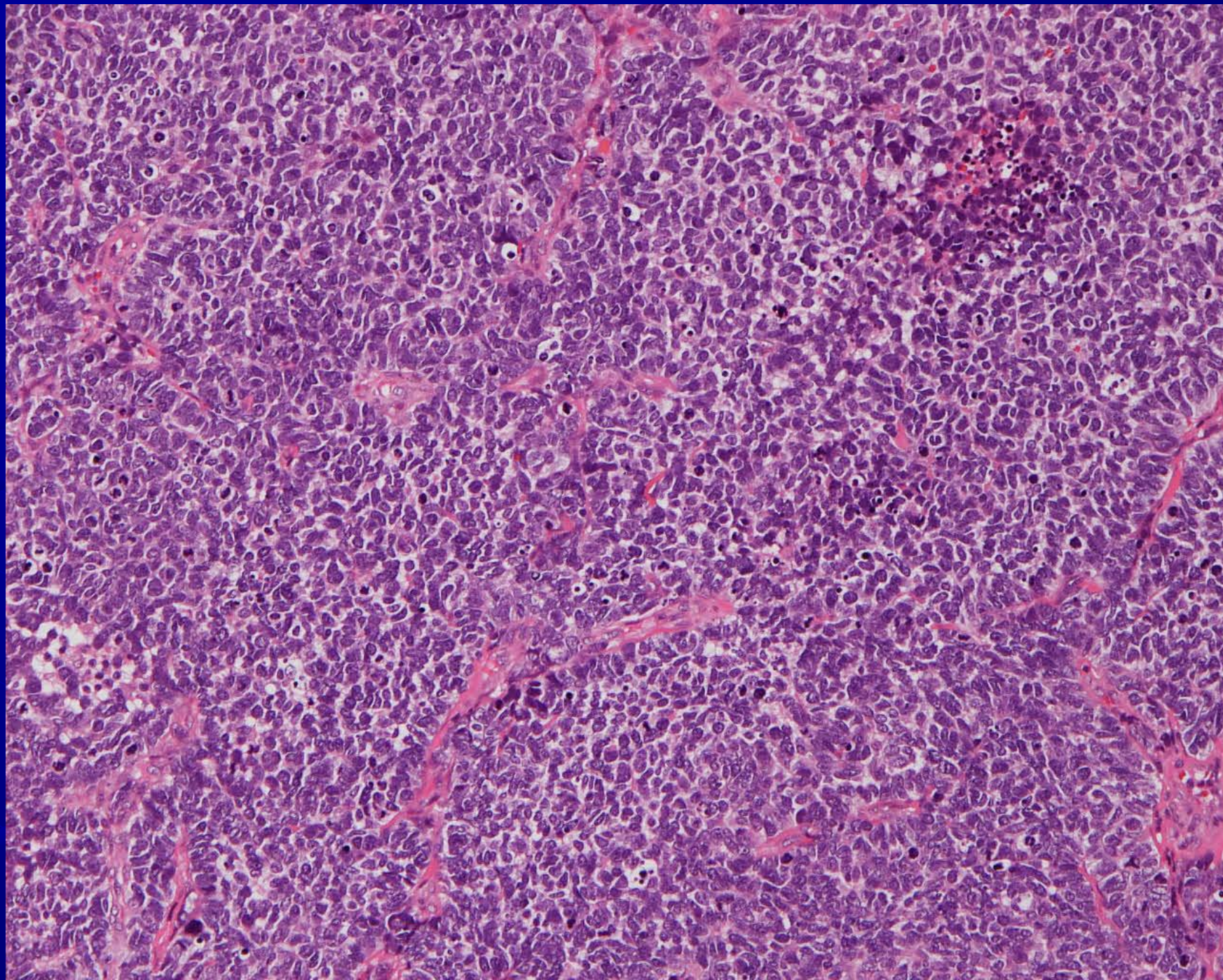
組織学的診断

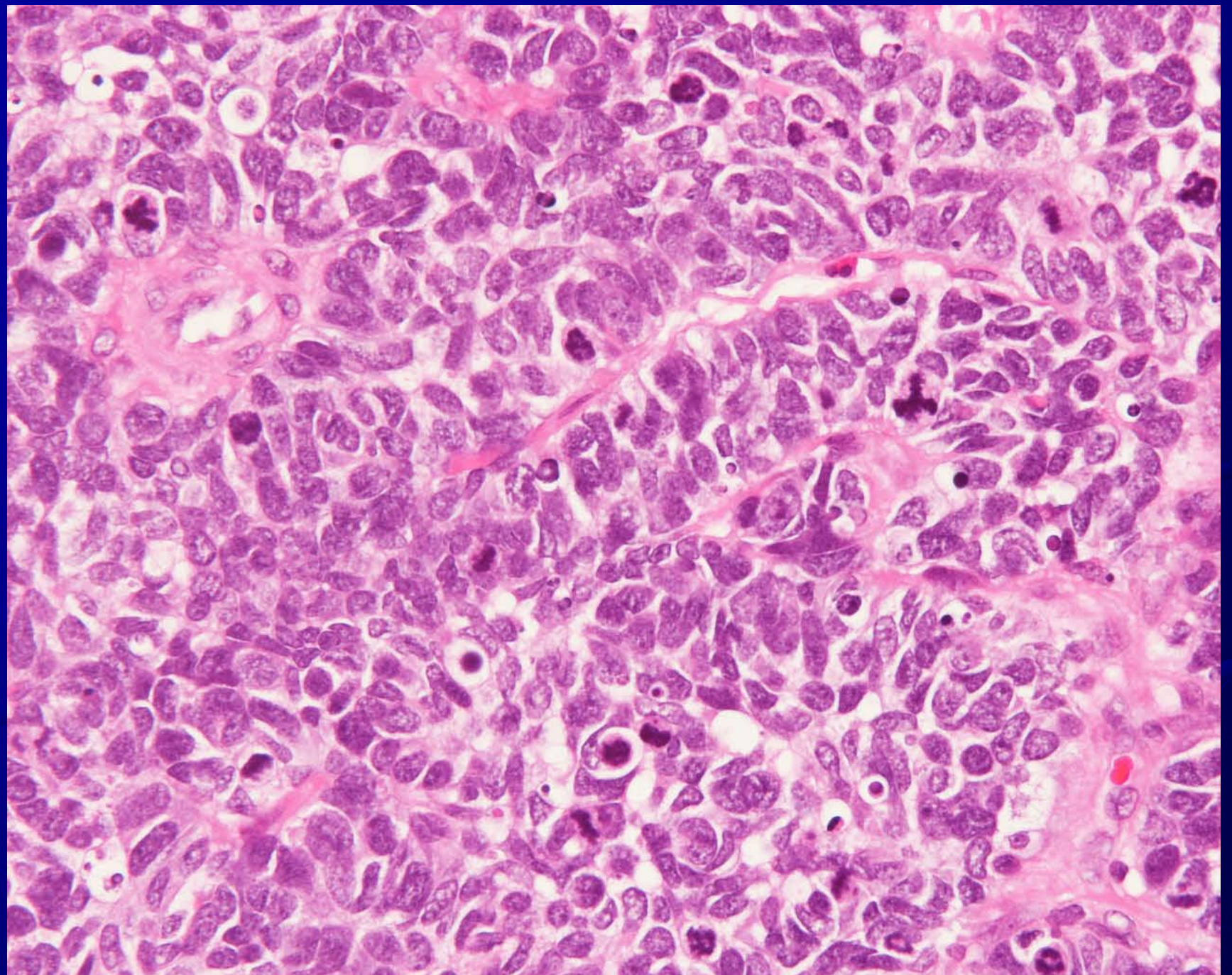
Squamous cell carcinoma,
nonkeratinizing type

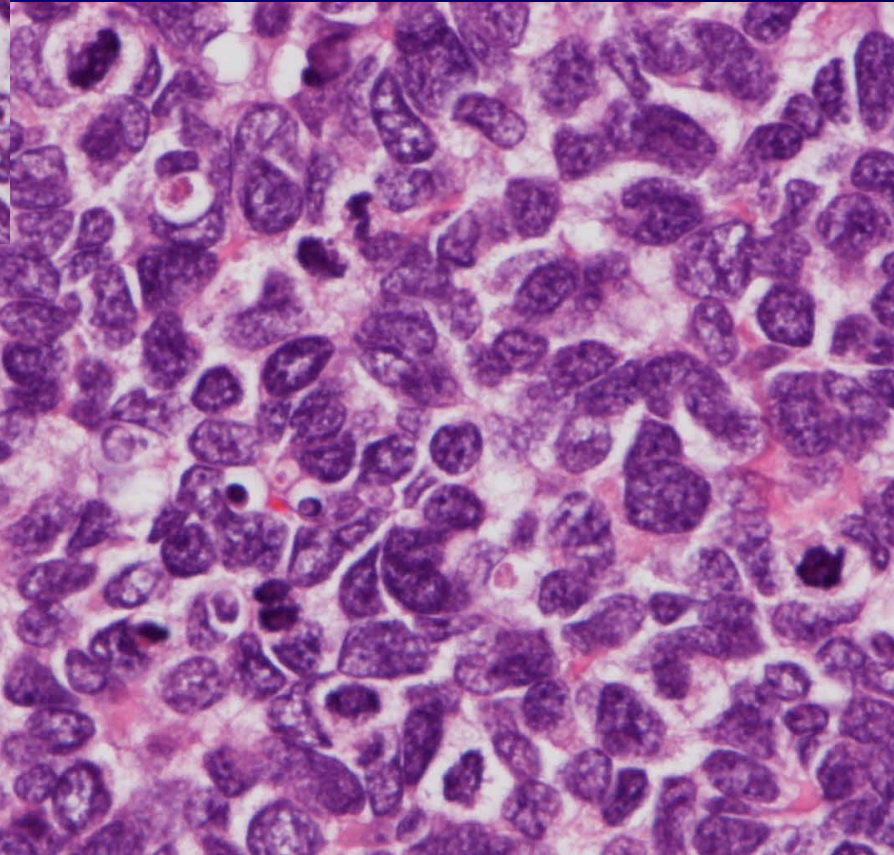
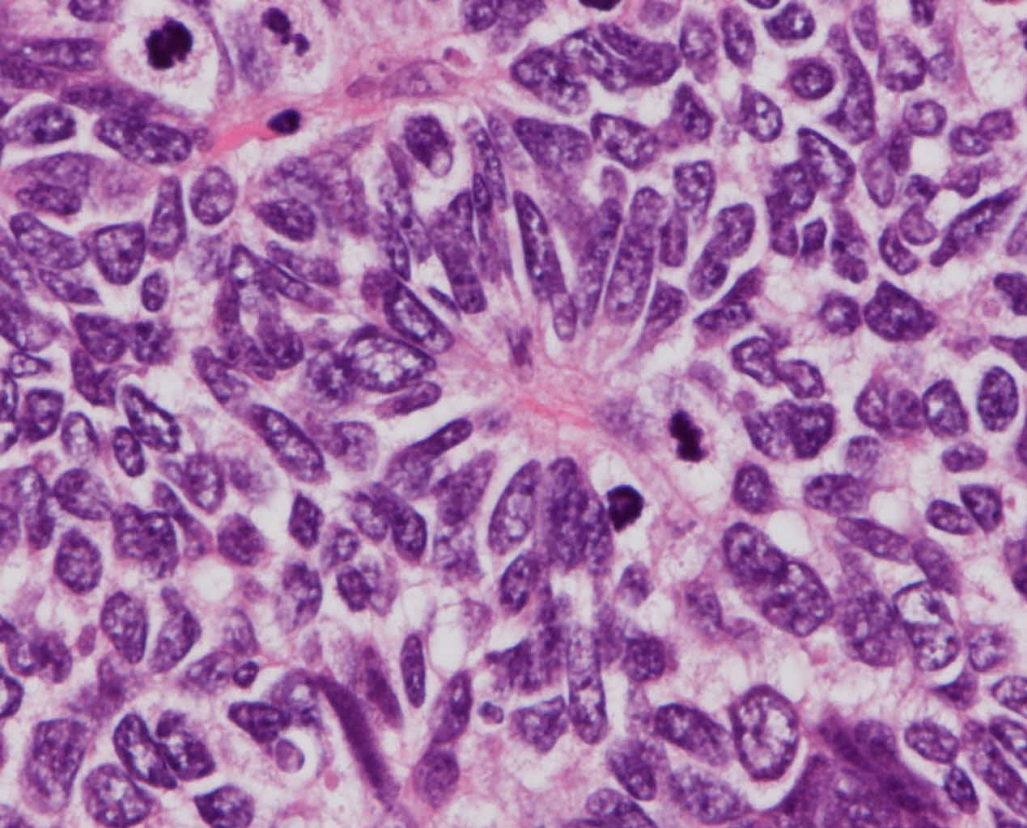
層状配列を示す異型細胞の増殖が認められる

- 扁平上皮癌の中で最も頻度の高い組織型。
- 単一細胞角化の出現をみることはあるが、一部にとどまる。
- 角化真珠形成は認められない。

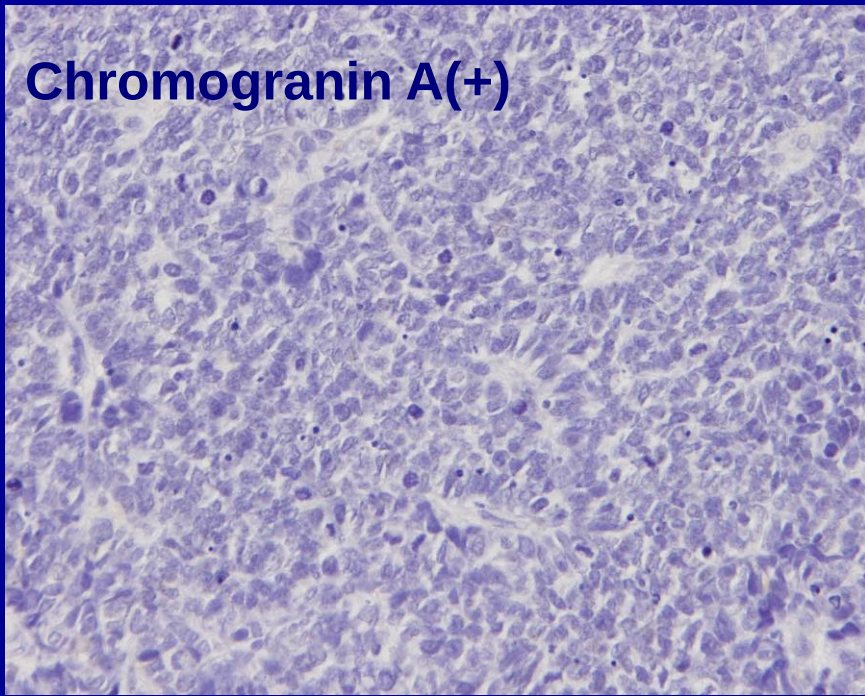




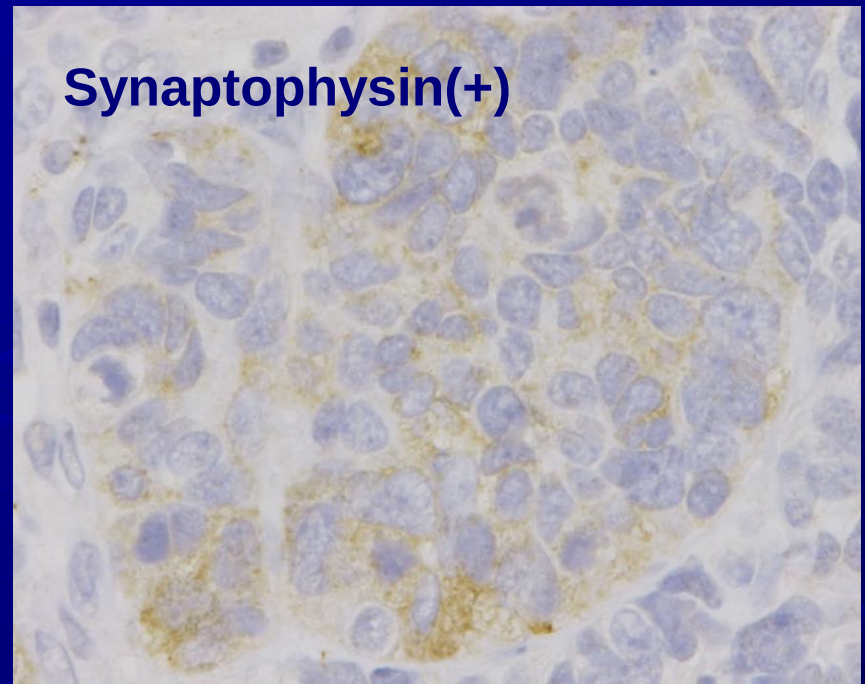




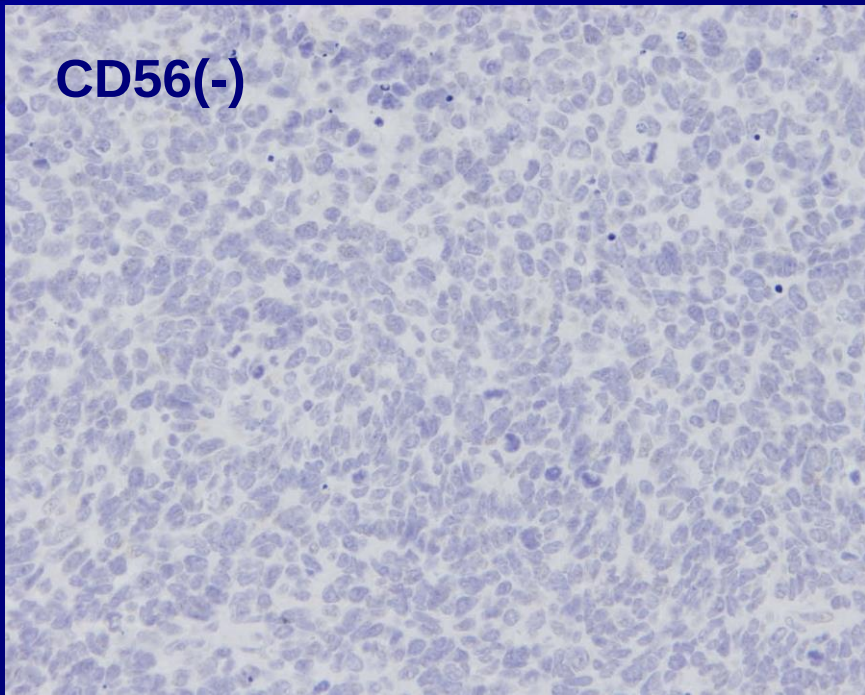
Chromogranin A(+)



Synaptophysin(+)



CD56(-)



Chromogranin A 弱(+)

Synaptophysin (+)

CD56 (-)

転院後

細胞診 扁平上皮癌



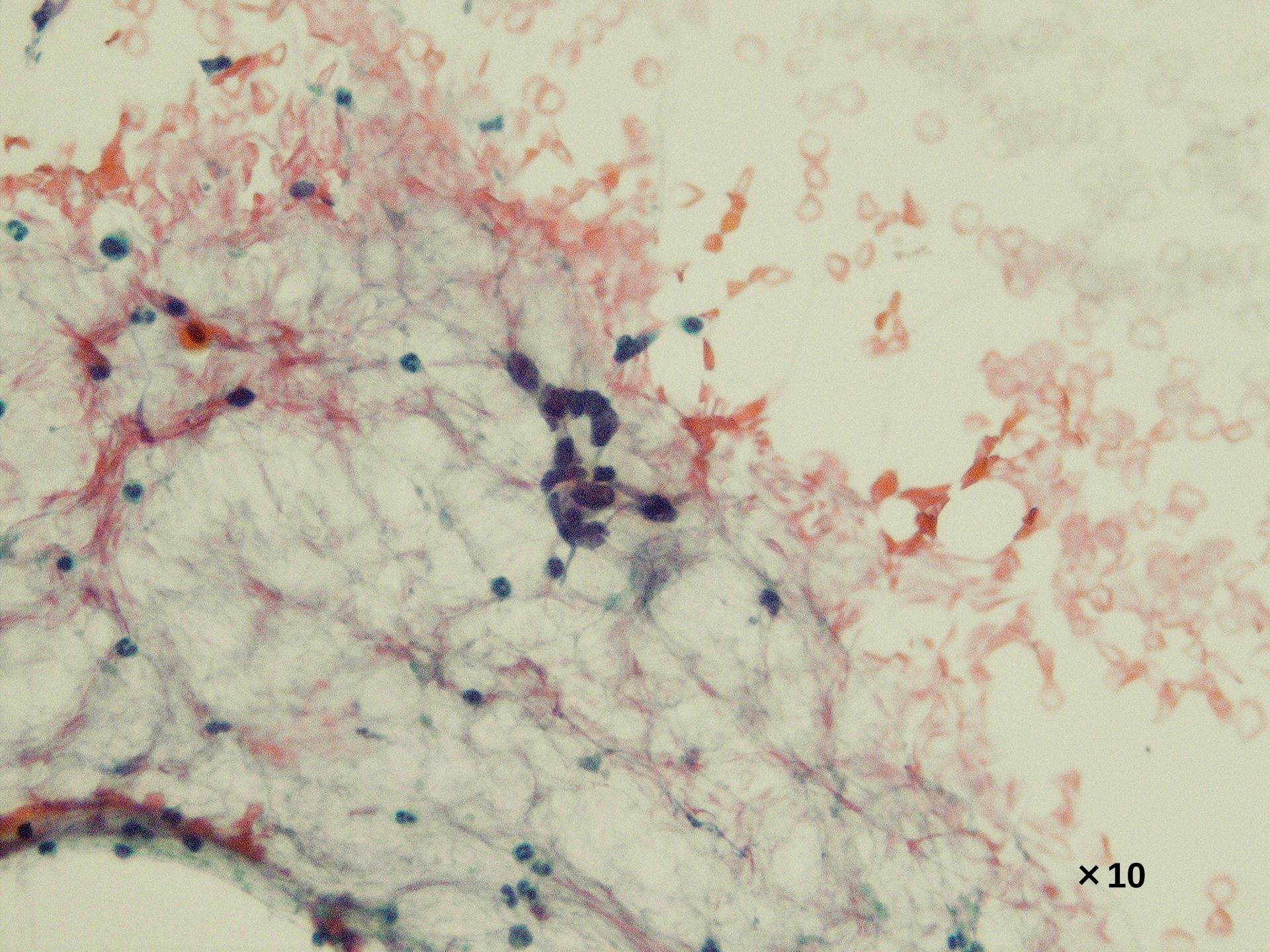
生検 扁平上皮癌+小細胞癌



放射線治療



Ope 扁平上皮癌



× 10

× 40

小型細胞から構成される扁平上皮癌??

小細胞癌との鑑別

- 小細胞性の癌細胞は小型でN/C比が高いため小細胞癌との鑑別を要することもある。
- 小細胞癌と比べると、核に大小不同があり、クロマチンが粗い。
- 一定方向に流れる配列がみられる。

まとめ

- 扁平上皮癌と小細胞癌が混在した症例を経験した。
- 今回の細胞診では、細胞数も少なく、変性もあり、パパニコロウ染色のみでは小細胞癌の混在を否定できない部分もあった。
- 扁平上皮癌と小細胞癌の混在は稀であるが、このような症例があることを意識してスクリーニングしたい。